

科目名	環境衛生化学特論 (がん専門医師養成科目)		
科目責任者	東 秀 憲 (労働衛生工学 教授)		
開講時期:	1年次	単位数:	0.5 単位
		時間数:	90分× 4 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>環境中の粒子状物質の吸入曝露による有害性を理解し、これらからリスクアセスメントのプロセスを理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 気中の化学物質測定のリデザインサンプリングについて統計的な理解をする。</li> <li>2) 粒子状物質の粒度分布と濃度測定法について理解する。</li> <li>3) 粒子状物質の実験動物を用いた吸入曝露試験法について理解する。</li> <li>4) 粒子状物質の実験動物の体内残留量の分析方法を理解する。</li> <li>5) 無影響量や許容濃度について理解する。</li> </ol>			
● 評価方法	検討会での討論20%・発表40%・レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で紹介する。労働衛生のしおり(中央労働災害防止協会)など		